

“街道テクテク・日光道中” No. 6 (2020-1-19)

参加者：芦田拓也、碓貴臣、後藤幸子、高野泰三郎、政芳一、黛政男、山岸任、木村芳一

行程：幸手駅入口→栗橋駅入口 8.3km

幸手駅→幸手駅入口（幸手宿）→一式稲荷神社（幸手を支配した一色氏の陣屋跡）→坦景寺→問屋場跡→雷電神社（幸手宿の総鎮守）→聖福寺→正福寺（浅間山噴火の大飢饉時に施粥を行ったという義賑窮餓之碑）→権現堂堤、行幸橋（中川、桜の名所）→雷電社湯殿社→小右衛門下組八幡神社→川通神社→会津見送り稲荷（会津藩士が道に迷った時に助けてくれたのは狐の化身であった）→炮烙地藏（関所破りの刑場跡、供養で素焼きの焙烙が奉納）→顕正寺→浄信寺→深廣寺（南無阿弥陀仏と刻まれた21基の六角塔が並んでいる）→栗橋駅入口（栗橋宿）→静御前の墓（栗橋駅東口）→栗橋駅近くの居酒屋「日本海庄や」で反省会

- ・幸手宿および栗橋宿はそれぞれ権現堂川、利根川の水運で栄えたところです。
- ・行幸橋で中川を横切りましたが、そのあたりでは、利根川と中川の間に権現堂川（かつての利根川本流）が流れていたのですが、治水対策のためにそこをせき止めて権現堂調節池（行幸湖）、権現堂堤が造成されました。周辺は権現堂公園として整備されており、時期になると権現堂堤の桜、菜の花が咲き誇ります。
- ・栗橋東の電柱に赤いテープが巻き付けられてあり、1947年のカスリーン台風で利根川が決壊して洪水になった時の水位（2.4m）が表示されていました。2018年1月の中山道テクテクで荒川の熊谷堤決壊の跡碑を見ましたが、カスリーン台風では荒川と利根川が決壊し、東京、埼玉に甚大な被害がもたらされました。
- ・静御前の墓ではカラフルな案内板が掲げられ、他の墓の雰囲気とはかなり異なっていました。

（木村芳一）

